

河和田アートキャンプ通信

発行日:平成30年9月25日
発行人:河和田アートキャンプ2018 実行委員会 青山英彦
編集人:河和田アートキャンプ事務局 西馬晋也

忘れたくない思い出が、こんなに。



河和田の皆さま、こんにちは！14回目の河和田アートキャンプも9月21日（金）に全40日間の日程を終了し、途中、猛暑や台風に見舞われるというハプニングもありましたが、なんとか無事にグランドファイナルを迎えることができました。これもひとえに、地元河和田地区の皆さんのご理解とご支援のお陰です。本当にありがとうございました！今回の河和田アートキャンプ通信では、この夏、河和田で過ごした学生たちの生の声をお届けいたします。（裏面をご覧ください）

河和田アートキャンプ2018の思い出



嬉しかったこと

- ・今回のアートキャンプで沢山の仲間が出来たこと。違う大学、違う学部、違う学年の人たちと出会い、ともに共同生活ができたことが最高に楽しかったし、嬉しかった！
- ・地元の方々にご挨拶をする、皆さん全員の方が挨拶を返してくれた！自分の町ではそういう経験がなかったので、とても新鮮で心が温まりました。
- ・家事分担したことで生活力がついたように思います。
- ・また河和田に帰って来られたこと。そしてまたたくさん交流ができたこと。
- ・地域の人が名前を憶えてくれたり、食事に誘ってくれたりしたのがものすごく嬉しかったです。差し入れも沢山いただきました。
- ・アートキャンプと一緒に参加しようという友人が誘ってくれたことが嬉しかった。
- ・地域の方々が自分たちの話を優しく聞いてくださり、ムチャなことを言っても

叶えようとして下さったところが本当に嬉しかったです。

驚いたこと

- ・河和田アートキャンプが地域に強く根付いていること。地元の方々がすごく協力的に活動を支えてくださったことに驚きました。
- ・地元の方がしゃべる福井弁がわからなくて、上手く聞き取れなかったこと。
- ・カエルがへびに食べられるところを目撃してしまったこと。
- ・アートキャンプでの食事がそこそこ美味しかったこと。(注：逆の意見もありました)
- ・長期間にわたる共同生活の中で、友人の意外な一面(性格)が見えてしまったこと。
- ・地元の子供たちがすごく元気で体力に限界がなかったこと。まじハンパない。
- ・町の中がとてもキレイだったことに驚きました。地元の方々が河和田を大切にしていることがよく伝わりました。

つらかったこと

- ・蚊が多い。蚊が多い。ヤモリも多い。ムカデも出た。そしてネズミもいる。しかもどれも大きかった(泣)
- ・家事をしない人がいたこと。使ったモノを放ったらかしにしたままの人が多い。



- ・時間を守らない人がいたこと。なかなか起きてこない人がいた。
- ・雨の日が多くて、洗濯物がいつも生乾きだったこと。
- ・「飲酒禁止」がつらかった。
- ・古民家の中に雨風が吹き込んできたこと。自然の脅威を身をもって知りました。
- ・台風の影響でプロジェクトの進行が遅れ、睡眠時間を削ってギリギリまで制作活動をやったこと。
- ・ラポーゼまでが遠い。雨が降るとお風呂に行けなかったのがつらかった。
- ・長期に渡る集団生活でストレスが溜まってしまい、些細なことで怒ってしまったりした…反省。

今年のキャンプでは前半は猛暑、後半は台風の影響で思うように制作が進まなかったという意見がありました。それでも地域の方々の優しさにふれて、「また来年もアートキャンプに参加したい」「河和田に來たい」という参加者が多かったです。